



ステフィとネッリの物語 全4巻

大海の光

トール作 菱木晃子訳 新宿書房

ナチスの迫害を逃れるため、妹とスウェーデンに送り出されたユダヤ人のステフィは、戦争がおわる日を待ちわびてきた。ウィーンに残ったママは収容所で死に、パパは行方不明だ。やがて、ドイツが降伏して平和が訪れたが、喜びよりも、なにが起こるかわからない不安を感じる。

パパと同じ医者になりたいステフィと、漁師町で養い親と暮らした妹ネッリ。べつの家に引き取られ、べつの道を歩いていたふたりは、新たに将来の選択をしなければならなくなる。四部作シリーズ最終巻。

